

かめのり
未来をつくる
リーダーシッププロジェクト
2022

Kamenori Academy for Future Leaders 2022

実施レポート



『全員発揮型のリーダーシップ』について理解を深め
必要な『スキルを身につける』ことを目指す

目的

- | | |
|----------------|--|
| <u>リーダーシップ</u> | ▶それぞれが持つリーダーシップを発揮できるようにすることで、身の回りや社会課題の解決にリーダーシップを発揮し、チャレンジし続ける人材の育成を目指す。 |
| <u>ライフスキル</u> | ▶仲間やチームで課題解決を図ることを通してライフスキルを身につけ、自立・自走型人材の育成を目指す。 |
| <u>多文化共生</u> | ▶異なる文化・国家の背景を持つ参加者が仲間やチームでの活動を通して、多文化共生の精神を涵養する。 |

主な実施内容



学習スタイル	目標
オンライン研修 ① 9月7日(水) 20:30~22:00	▶本研修の目的を理解し、リーダーシップを発揮すること、もしくは身につけることに意欲を持つ。 ▶知り合う活動を通して、チームとして活動できる土台を作る
オンデマンド学習 ① (各自)	▶現在の社会の特徴を理解するとともに、自己認識の重要性に気づく。 ▶自己認識を通して自分らしさが明確になることを理解する。
オンライン研修 ② 9月14日(水) 20:30~22:00	▶マインドフルネスを通して自己認識を行い、ありたい姿や本当の自分を明らかにする。 ▶ワークを通して、自分の強みを知る。
オンデマンド学習 ② (各自)	▶現在の社会では、全員発揮型のリーダーシップが必要であることを理解する。 ▶リーダーシップを発揮するための必要なスキルについて学ぶ。
オンライン研修 ② 9月21日(水) 20:30~22:00	▶リーダーシップについての自分の考えを発表し、交流することで、自らのリーダーシップをより明確にする。 ▶学ぶための重要な3つのスキルへ取り組み、スキルのポイントをつかむ。
オンデマンド学習 ③ (各自)	▶社会課題に意味を知り、解決する必要性を感じる。 ▶プランを構築するための、手順や方法を学ぶ。
オンライン研修 ④ 9月28日(水) 20:30~22:00	▶大事にしたいこと(価値観)に基づいた取り組みたい社会課題を明らかにする。 ▶合宿研修のチーム編成の基礎を作る。
宿泊研修 10月9日(日) 10:30~ 10日(月) ~16:00	▶オンライン研修及びオンデマンド学習を基礎とした宿泊を伴う対面研修を実施し、研修全体の目的達成をはかる。主な内容は、もっと知り合う活動/リーダーシップワーク/リーダーシップチャレンジ/発表。

リーダーシップ行動内容の変化



宿泊研修開始前と終了時に、参加者は同じ「リーダーシップチェックシート」に回答し、研修によるリーダーシップ行動内容の変化をはかった。(右図参照)

ほぼ全項目にわたって向上したが、唯一、向上しなかったのは「自分を客観的に見る」であった。高校生は向上しているが、大学生は下がっている。研修での様子やアンケートなどから推測すると、大学生が、高校生より年上なのだから引っ張らなければいけないと感じていたことが要因ではないかと推測される。また、大きく向上した項目は「他者へ協力を求める」「メンバーの力を引き出す」「目標・計画を共有する」など、チームのメンバーとの関わりに関する項目であった。この研修は、チームのメンバーとしてのリーダーシップについて特に効果的だと判断できる。(講師:横田)



カテゴリー	リーダーシップ行動内容
個の確立	自分自身が成長しようとする
	チャレンジする
	立ち直る
	流されない自分を作る
	他者へ協力を求める
	自分を客観的に見る
環境整備・同僚支援	お互いに認め合う
	相互に意見交換する
	前向きな雰囲気を作る
	仲間を助ける
	メンバーの力を引き出す
目標設定・共有	みんなで理想を描く
	目標を立てる
	計画を立てる
	目標・計画を共有する
	進捗を管理する

講師

横田 秀策

- ▶ 国家資格キャリアコンサルタント
- ▶ 産学連携教育イノベーター育成プログラム（リーダーシップ開発育成コース；立教大学）修了



佐渡 涼子

- ▶ ADHD/EFコーチ、親コーチ
- ▶ ニューヨーク大学大学院応用心理学修了（修士）



修了者

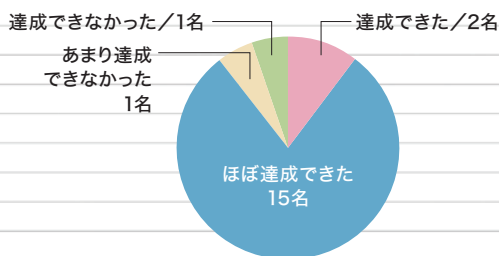
19名（高校生7名、大学生12名）



終了後アンケート

参加者それぞれが自分の課題に向き合うとともに、今後の課題を認識することができました。また、宿泊研修での経験や学びは、参加者の今後に役立つものであったと思われます。特にコミュニケーションや人間関係に関するコメントが多く、宿泊研修の効果を実感しました。

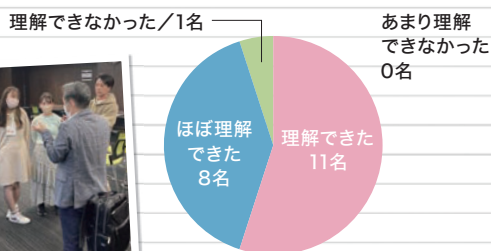
Q1 応募時に書いた「リーダーシップに関する自分の課題」は達成できましたか？



Q2 どのように達成できましたか？

少し疑問に思ったことやもっと深く知りたいと思ったことをみんなに積極的に質問し、考えをより深く理解することができた。質問をしたおかげで、相手が思っていることと自分が受け取ったことに相違がなく、スムーズに話を進めることができた。最後のフィードバックのときに、メンバーから「質問してくれたおかげで、こっちも状況を把握することができた」「質問されることで自分の意見を整理していくことができた」とのコメントをもらい、情報共有にも役立つことを認識することができた。

Q3 研修を通して、リーダーシップに関する今後の自分の課題を理解できましたか？



Q4 リーダーシップに関する今後の自分の課題は？

人の話を聞くことがすごく大切だと痛感しました。もちろん、どんどん発言しないことには何も起こりませんが、全員発言型の場合、みんなが話しすぎて意見がまとまらなかったり、それぞれが好きに話すので、聞くことと話すことのバランスを持てるようになることが課題です。



Q5 この研修を通して、リーダーシップ以外に得られたことは？

同じような志がある仲間を見つけることができました。これからもこまめに会って情報共有することを約束した。また、将来についても先生方や参加者から有意義な意見を聞くことができた。



Q6 研修全体をふり返り、感想や気づいた点は？

皆さんとても優しく、私が日本語をはっきり話せないことがあっても、寛容に受け止めてくれました。みんな中国の文化にも興味津々でしたよ。外国人であることは大したことではなく、文化的背景が違ってグループの一員となり、良い友達になれると感じさせてくれました。



研修の様子動画



URL: <https://youtu.be/4OMmX6j9Wf8>



まとめ

目的を意識しながらチームで解決



▶ プログラムは、いわゆる反転学習のモデルを活用し、オンライン研修4回とオンデマンド学習3回を行った。事前学習した知識はオンライン研修でグループ交流している様子から判断して、参加者によって十分活用されているようだった。また、オンライン研修で参加者同士のつながりが非常に強くなり、合宿研修で他のメンバーに会えることへの参加者の意欲が大いに高まった。

宿泊研修の「リーダーシップチャレンジ」では、設定したリーダーシップ目標を意識しながら、チームで解決する社会課題の設定、その解決に取り組んだ。いずれのチームも熱心に取り組んだが、チームの構成メンバーの特性を考慮したり、自らのどのようなリーダーシップを発揮したりするかなどの意識等を理由として、進行状況等に影響があった。

いずれのチームも最後の発表では自分達が取り組んできたことを発表することができ、自らのリーダーシップの成長や課題を認識することができた。

本プログラムは参加者のリーダーシップ育成に一定の効果があり、プログラムの目的を果たすことができたと考える。(講師：横田)



オンライン研修の意義

▶ オンライン研修では、参加者は積極的にお互いに関わりを持つように行動を取り、実際の課題の話し合いもとてもスムーズに行われていた。オンラインでの交流に慣れている参加者や慣れていない様子の参加者もいたが、オンラインだからこそ、安心感も感じられた様子だった。新しい場が安心できる自分の部屋がベースになっている事で話しやすい参加者もいたように見受けられた。



オンラインでの交流に慣れている参加者や慣れていない様子の参加者もいたが、オンラインだからこそ、安心感も感じられた様子だった。新しい場が安心できる自分の部屋がベースになっている事で話しやすい参加者もいたように見受けられた。

オンデマンド学習は、「一人での学習」なので、それをベースにオンライン学習の交流にて広げたり深めたりできるように組む必要性を感じた。今後はオンデマンド学習の結果を、オンライン研修の最後に判断できるようにして、より学びを広げて深めていくことを試したいと思った。

オンライン研修を経ての宿泊研修は、予想以上に盛り上がった。コロナ禍でこのような宿泊研修が減っていることもあり、画面越しに毎週会っていた後の対面研修は、研修に向けての期待値を上げた様子だった。初対面でありながら、初対面でない感覚でさまざまな活動に参加していた。ここにオンライン研修の意義をととても感じた。(講師：佐渡)

〈主催〉



公益財団法人
かめのり財団

〈実施団体・連絡先〉



特定非営利活動法人

青少年育成支援フォーラム

Japan Initiative for Youth Development

〒150-0043

東京都渋谷区道玄坂1-21-1 SHIBUYA SOLASTA 3F

TEL 050-1742-4922 E-mail: info@jiyd.org